

記入例②

様式第三号（第八条の二十七関係）

越谷市内で、設置が短期間であり、又は所在地が一定しない事業場が2以上ある場合（建設工事現場等）、1事業場としてまとめてください。

産業廃棄物管理票交付等状況報告書（〇〇年度）

報告者の法人名、代表者氏名、住所、電話番号を記入（押印不要）

□年 5月 15日

提出日を記入（現年度）

報告者
住所 埼玉県〇〇市〇〇1-1
氏名 △△建設株式会社 代表取締役 △△ △△
(法人にあっては名称及び代表者の氏名)
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

日本標準産業分類の中分類を記入
複数の事業を行っている場合は、報告者の主たる業種を1つ記入

単位を「トン」で記入
「トン」以外の単位で管理している場合は、換算表を参考に換算して記入

報告対象年度（前年度）の和暦を記入

産業廃棄物の種類及び委託先ごとに記入

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の3第7項の規定に基づき、〇〇年度の産業廃棄物管理票に関する報告書を提出します。

事業場の名称		△△建設株式会社 ○×営業所（越谷市内各現場）				業種	06 総合工事業		
事業場の所在地		越谷市内各現場				電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
番号	産業廃棄物の種類	排出量(t)	管理票の交付枚数	運搬受託者の許可番号	運搬受託者の氏名又は名称	運搬先の住所	処分受託者の許可番号	処分受託者の氏名又は名称	処分場所の住所
1	廃プラスチック類	10	2		自社運搬	埼玉県〇〇市〇〇5-1	××××××	〇△興業株式会社	通常は記入不要 ※運搬先欄と同じになるため
2	がれき類	40	3	××××××	株式会社××環境	埼玉県〇〇市××1-3	××××××	□□産業株式会社	
3	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	2	1	××××××	株式会社××環境	栃木県××市〇〇3-2	××××××	株式会社××□	
4	建設混合廃棄物 (管理型)	10	4	××××××	〇□産業株式会社	群馬県△〇市〇〇3-1	××××××	株式会社××工業	

- 備考
- 建設工事において発生する廃棄物の混合物は建設混合廃棄物と記入
 - 3月31日までに交付した産業廃棄物管理票について6月30日までに提出すること。
区域内に、設置が短期間であり、又は越谷市内で、設置が短期間であり、又は所在地が一定しない事業場が2以上ある場合には、これらの事業場を1事業場としてまとめた上で提出すること。
 - 産業廃棄物の種類及び委託先ごとに記入すること。
 - 業種には日本標準産業分類の中分類を記入すること。
 - 運搬又は処分を委託した産業廃棄物の種類及び委託先ごとに、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、「産業廃棄物の種類」の欄にその旨を記載するとともに、各事項について石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等に係るものを明らかにすること。
 - 処分場所の住所は運搬先の住所と同じである場合に記入する必要はないこと。
 - 区間を区切って運搬を委託した場合又は受託者が再委託を行った場合には、区間ごとの運搬受託者又は再受託者についてもすべて記入すること。

産業廃棄物を運搬した場所の住所（運搬先の事業場住所）を記入
注：運搬受託者の住所ではありません。

許可番号の下6桁を記入

記入例②

別紙（参考様式）

報告対象年度（前年度）の和暦を記入

別紙の総数と当該別紙番号を記入

報告年度		〇〇 年度		事業場の名称			別紙番号		1 / 1	
番号	産業廃棄物の種類	排出量(t)	管理票の交付枚数	運搬受託者の許可番号	運搬受託者の氏名又は名称	運搬先の住所	処分受託者の許可番号	処分受託者の氏名又は名称	処分場所の住所	
5	木くず	30	2	xxxxxx	株式会社××環境	埼玉県△□市〇〇2-3	xxxxxx	□〇株式会社	通常は記入不要 ※運搬先欄と同じになるため	
6	木くず (区間委託)	50	4	xxxxxx	△×運輸株式会社	埼玉県××市□〇4-1				
				xxxxxx	××環境有限会社	栃木県□□市×〇5-3	xxxxxx	株式会社〇〇産業		
7	紙くず	0.4	3	xxxxxx	株式会社××環境	群馬県〇□市△△1-3	xxxxxx	□×興業株式会社		
	区間委託の場合は、上段に第一区間、 下段に第二区間を委託した業者を記入			※再委託した場合は実際に収集運搬や 処分を行った再委託先を記入			区間委託の場合は 積替保管場所を記入			

備考

- 1 この別紙は報告の対象となる産業廃棄物の種類が報告書（様式第三号）に足りない場合に使用すること。
- 2 報告年度には、元となる報告書（様式第三号）の表題と同じ年度を記載すること。
- 3 事業場の名称には、元となる報告書（様式第三号）と同じ名称を記載すること。
- 4 別紙番号には、分母部分に別紙の総数を記載し、分子部分に当該別紙の番号を記載すること。